

すなお

令和5年7月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2023.7.16 通巻 No.756



会長

おふでさきに「にちにちに よふきづとめの てがつけば 神のたのしゆみ いかほどの事 4号-23」「はやばやと つとめのにんぢう まちかねる そばな心は なにをおもうや 4号-24」と仰せられています。日々つとめるおつとめ、月次祭のおつとめをつとめることによって親神様の楽しみはいかほどの事か。そしてそのつとめをする人の集まりを心から待ち望んでいると仰せです。

諭達にも教えていただいていますように、日々起こってくる天変地異は全て親神様からのメッセージが込められています。今月各地で降った大雨も当然その対象です。私達は日々人間の力の過信してないつもりで生きていますが、こうした災害が起きた時に人間の力の無さを深く感じるとすれば、それは違うと言わざるを得ません。災害が起らなかったとしても私達一人ひとりがどれほどのことが出来るのか考えれば、よく分かります。何一つ出来ることは無いのです。本当に心を動かすことのみです。

今、私はパソコンを使って文字を入力しています。あたかも自分で考えてやっているような錯覚をしてしまいますが、脳の血管一つ詰まってしまうと指の一本も動かなくなります。車の運転、料理、それぞれの仕事。全て同じです。

信じる信じないに拘わらず、神様の御守護なくして今日という日は成り立たないので。だからこそ、御礼と感謝の方法として親神様が一番喜んで下さるおつとめを勇んでつとめさせていただくことが何よりの御恩返しになるのです。子供の頃は形から入るおつとめもあるでしょう。しかし、歳を重ねて親神様の深き大きな御守護の世界を感じられるようになれば、つとめ方が変わるのも当然のことです。共に勇んで願いと御礼の思いを込めておつとめをさせていただきます。

「みなそろて はやくつとめを するならば そばがいさめば 神もいさむる 1号-11」

おさづけの理を拝戴して

宮本 亜希子

おさづけをいただきに行く道中は、大雨で何とか着いてCDのお手振りの手本を見ながら練習しましたが、なかなかできずギリギリ何とか間に合いました。

やっとおさづけをいただく時が来てはじめて取り次ぎ方が分かりました。できることから始めたいと思います。

おさづけの理を拝戴して

野間 秀平

7月1日におさづけの拝戴にに行ってきました。別席は大学2回生の時点で終了してしましたので、約3年越におさづけの理を拝戴することとなりました。

私自身、おさづけ＝大人のするものといった漠然としたイメージがありましたので、自分も今回ようぼくとして進めたことを非常に嬉しく思っています。拝戴後のお話の中で「今日という日は第2の誕生日です」というお言葉がありました。7月1日という非常に覚えやすい日に拝戴ができたことを胸に刻み、拝戴時の澄んだ心を忘れずに、身上事情に困っている人には積極的におさづけを取り次ぎたいと思います。



をびや許しをいただいて

椿 信代

先月夫婦でおちばへ帰り、をびや許しをいただきました。前回2人揃って天理へ帰ったのは結婚前の2017年（夏のこどもおちばがえり以来）だったので実に6年ぶりです。久しぶりでしたが教祖は変わらずようおかえりと言ってくださっているような、おちばのあたたかい雰囲気を感じました。

その日は祭典の前日の25日だったので、をびや許しが普段と違う御用場で実施されていて初めて入る場所に少し緊張しました。私たちを担当していただいた先生は夫がお道の者ではないことを確認された上で、それでも分かるようなやさしい言葉で教えてくださいました。子を授かったということ、産むまでと産んでからの心遣い、そしてをびや許しの成り立ちと三度のおごくさんについて。中でも何度も仰っていた「夫婦（親）の心を合わせて、仲良く」という言葉が胸に残り、私たちにとってはきっとこれが一番大事なことななだと思いました。

出産は終わりではなく、子供にとっては人生の始まりで、私たちにとっては親としての始まりでもあります。不安な気持ちが全くなかった訳ではありませんが、人間技ではどうにもならない世界だからこそ、これから何事も夫婦心を揃えて、神様にもたれて過ごしていこうと思います。

教会ニュース

こどもおちばがえり

今年のこどもおちばがえりは7月29日、30日と帰らせていただきます。久しぶりのおちばの夏を楽しんで来たいと思います。

おさづけの理拝戴

今月1日に宮本亜希子さん、野間秀平さんがおさづけを拝戴され、ようぼくの仲間入りをしました。どんどんおさづけの取り次ぎをしていただきたいと思います。（拝戴後の感想記載）